

農林水産事業からのお知らせ - その91 -

広島県の酪農家の皆様へ

このコーナーでは日本政策金融公庫から、酪農家の皆様の経営に役立つ情報を提供して参ります

TOPIC 圧ぺん加工した飼料用玄米と生米ぬかを最大で34%混合した発酵TMRは泌乳前期の飼料として利用できる

公庫では、農業の最新技術を研究してきた「テクニカルアドバイザー」が、酪農や稲作など、各農業分野の最新技術情報を「技術の窓」としてまとめ、皆様にご紹介する活動も行っています。

耕畜連携によって新規需要米等水田を活用した自給飼料の生産が拡大している中で、飼料用米を有効に活用する乳牛の飼養管理技術の確立が求められています。そこで、長野県畜産試験場では、圧ぺん加工した飼料用玄米と生米ぬか、スーダン型ソルガムサイレージ、トウモロコシサイレージおよびビール粕等の自給飼料を活用する発酵TMRで高泌乳と適正な繁殖サイクルが維持できる飼料給与メニューを開発し、その有効性を給与試験によって明らかにしましたので紹介します。

☆技術の概要

1. 飼料用米「あきたこまち」の玄米を加水して20時間後に蒸気圧0.2メガパスカル、温度128℃、厚さ1mm以下の条件で加圧・加熱加工した飼料用玄米と生米ぬかを乾物中にそれぞれ25%、9%混合し、スーダン型ソルガム、トウモロコシサイレージ等を用いて自給飼料割合が67%の発酵TMRを給与する試験区と、圧ぺん玄米や生米ぬかを混合しない発酵TMR区を給与する対照区とを比較しました。
2. 泌乳前期のホルスタイン種経産牛を対照区と試験区に各5頭を供試し、分娩前3週間前から馴致を行い、分娩後20週(初乳期間5日を含め145日)まで給与試験を行いました。
3. 発酵TMRの品質は良好で、採食量は分娩後順調に増加し、4週目以降の乾物採食量は21kg/日、体重比3.2%以上で、供試牛の体重には大きな変動はありませんでした。
4. 試験区の分娩後20週間の総搾乳量は6,550kg、日乳量は46.8kgで対照区と比べて有意な差がなく、乳成分についても違いはありませんでした。

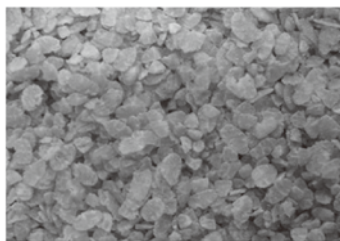


図1 圧ぺん加工した玄米

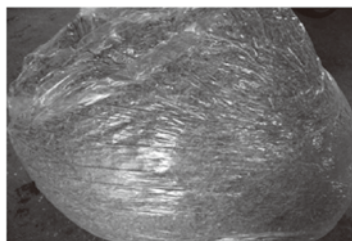


図2 圧ぺん玄米および生米ぬかを混合した発酵TMR



図3 飼養試験状況

☆活用上での留意点

生米ぬかを利用すると飼料中の脂肪含量が高くなるので飼料設計に注意が必要であり、発酵TMRの採食を安定させるには分娩前3週間前からの馴致が必要です。詳しくは、長野県畜産試験場 井出忠彦(Tel. 0263-52-1188)にお問い合わせください。

(日本政策金融公庫農林水産事業本部 テクニカルアドバイザー 加茂幹男)

※詳細については、農林水産省のホームページをご参照ください。
⇒http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi.html

(株)日本政策金融公庫 広島支店 農林水産事業

所在地: 〒730-0031 広島市中区紙屋町1-2-22 広島トランヴェールビルディング6階
TEL:082-249-9152 FAX:082-249-9102

○相談窓口も以下の場所で開催しております。

三次相談窓口(4月は5日と19日)

場所:三次農業協同組合本店

庄原相談窓口(4月は6日と20日)

場所:庄原農業協同組合本店

福山相談窓口(4月は14日)

場所:日本政策金融公庫福山支店

※予約制で開催しております。ご来店の際は事前にご連絡をお願いいたします。



公表 「2017-2月 乳用種雄牛評価成績」

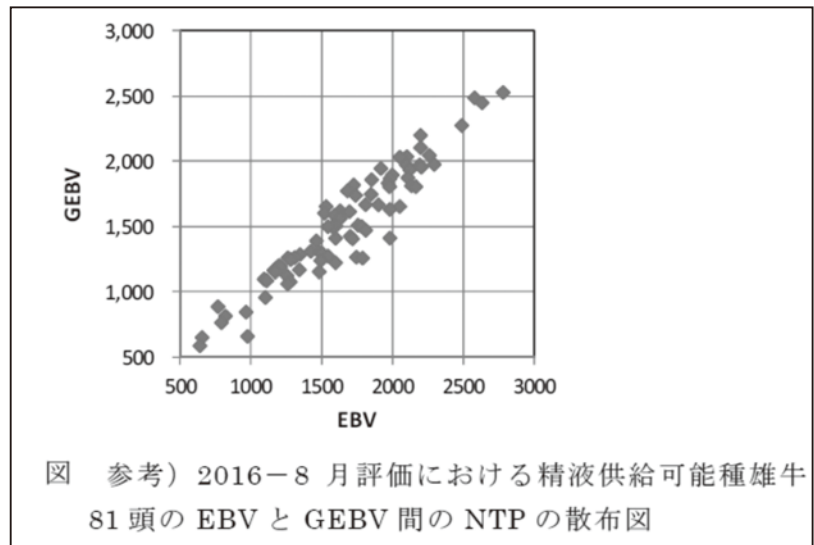
平成 29 年 2 月 28 日、「乳用種雄牛評価成績 2017-2 月」が公表されました。今月はこの成績と新規種雄牛について紹介します。

北米の SNP 情報をリファレンス集団に組み込むことでリファレンス集団が大幅に増加したことなどのことから SNP 情報を持つ後代検定済種雄牛および経産牛の遺伝評価値を従来の EBV から GEBV に変更となりました。（※ SNP 情報を持たない後代検定済種雄牛および経産牛は従来通りの EBV で公表。）

これによって、従来の遺伝評価値よりも精度の高い遺伝評価が可能となり、事前の検証において、2016-8 月評価における精液供給可能種雄牛 81 頭の EBV と GEBV 間の順位相関は NTP において 0.93 で、GEBV への変更に伴い従来の評価間での順位の変動より若干大きく変動しましたが(図参照)、一時的なことであり、今後はこれまで通り安定した遺伝子評価値となります。

なお、経産牛は 2017-8 月から GEBV に変更されます。

今回の「乳用種雄牛評価成績 2017-2 月」において、新たに 8 頭の種雄牛が選抜されました。8 頭の内訳は、当団が 2 頭、ジェネティクス北海道から 5 頭、J-sire プロジェクトから 1 頭です。



順位	略号	名号	NIP	長命連産効果	乳代効果	Milk	Fat%	Pro%	SNP%	体細胞スコア	肢蹄	乳器	決定得点	父
7	JP3H56137	ケネラッド ベンナベル スカイ ET	2145	97,944	112,696	1,264	-0.22	-0.01	0.02	2.24	1.41	1.26	1.56	アルタイオア
10	JP5H55879	ハンカソン CCM グ イーノ	2006	39,972	114,868	1,177	0.11	-0.02	-0.06	2.48	0.65	0.40	1.12	アイオン
12	JP5H55973	ストレチア イヴ アン	1968	75,102	88,226	849	0.07	0.04	0.10	2.11	0.80	0.88	0.94	ビーコン
17	JP3H56115	ビ アソウル ロミオ バ ツジ オ	1928	49,082	78,268	631	0.10	0.18	0.35	2.52	0.56	0.66	0.56	トーベルマン
22	JP3H55978	ブレイン ミッチー ブラックヒル ET	1806	58,012	73,478	721	0.10	0.05	0.01	1.65	0.21	1.22	1.01	ヒル
27	JP3H56101	EL グ イールド ヒル	1747	94,415	53,430	529	0.07	0.12	0.00	1.59	0.67	1.20	0.70	ヒル
29	JP2H56228	NLBC ナビゲート イマートン	1738	34,866	81,055	684	0.20	0.09	0.19	2.21	-0.18	0.98	0.82	ナイアグラ
60	JP3H56285	グ ローランド リュ ET	1237	84,643	23,147	74	0.39	0.03	0.04	1.63	1.08	1.90	2.19	ヒル

※ 2017-2 月評価成績を持つ 67 頭中、上位 10 傑である指数に色付けしています。

▼新たに選抜された種雄牛の父牛は、ヒルが 3 頭、アルタイオア、アイオン、ビーコン、ドーベルマン、ナイアグラが各 1 頭とバラエティに富んだラインナップになっております。

▼新規選抜種雄牛成績は、泌乳能力よりも体型改良力と長命性をもつ種雄牛が多かったことが特徴で、長命連産効果では、ベルスカイ、ヴェイルド ヒルが高い育種価を持っております。

▼乳成分面では成分率が高く、マイナスが少ない種雄牛が多く選抜されました。

▼体細胞スコアではブラックヒル、ヴェイルド ヒル、

リュが優れておりました。

▼肢蹄では、ベルスカイ、エヴアン、リュが高い育種価を持っており、乳器では、リュが高い育種価を持っております。また、決定得点ではベルスカイ、リュが高い育種価を持っております。

以上が今回新たに加わった種雄牛です。今回紹介した種雄牛以外にも特徴のある種雄牛が多くいますので、改良ニーズに合わせた種雄牛を選択し利用いただければと思います。利用する種雄牛に迷われましたら是非ご相談下さい。

詳細は岡山種雄牛センター(電話 0868-57-2475)四宮、安積までお問い合わせください。